

決算補足説明資料

2020年度 第2四半期 業績概要

注意事項

- **当社は2020年5月28日提出の有価証券報告書より、会計基準の統一による経営管理の高度化および資本市場における財務情報の国際的な比較可能性向上を目的として、国際財務報告基準(以下「IFRS」)を任意適用しております。また、2020年度よりセグメント区分の見直しなども行っています。これにより2019年度の数値は、これらの変更影響を加味した上で算出しています。(P.20参照)**
- 本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。
- 本資料に記載の数値は四捨五入にて表示しており、決算短信など他資料と異なる場合がありますので、ご了承ください。
- 本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用することを禁じます。

株式会社 安川電機 (TSE6506)

(対象期間：2020年3月1日～2020年8月31日)

1. 2020年度 上期 連結業績

- 2020年度 上期 実績
- 主要事業の概要
- 事業セグメント別売上収益構成比
- 仕向先別売上収益，構成比
- 営業利益増減要因分析
- 2020年度 上期における取り組み

2. 2020年度 通期 連結業績見通し

- 2020年度 通期 見通し
- 営業利益増減要因分析
- 2020年度 下期における取り組み

3. 参考資料

- IFRS・セグメント変更による過年度の組替表示
- 設備投資・研究開発費,為替レート,感応度
- B/S 構造の推移
- 連結売上収益・営業利益推移
- 四半期連結売上収益推移
- 四半期連結受注推移
- グローバル生産拠点

セグメント別事業概要

モーションコントロール

【主要製品】

- ・ A Cサーボモータ、コントローラ
- ・ リニアサーボ
- ・ インバータ
- ・ PMモータ など



ロボット

【主要製品】

- ・ 産業用ロボット
 - アーク・スポット溶接・塗装用途向け
 - FPD搬送・ハンドリング用途向け
- ・ 半導体製造装置用ロボット
- ・ バイオメディカル用途向けロボット
- ・ 人協働ロボット など



システムエンジニアリング

【主要製品】

- ・ 大型風力発電用電機品
- ・ 太陽光発電用パワーコンディショナ
- ・ 上下水道用電気計装システム
- ・ 鉄鋼プラント用電機システム など



その他

- ・ 物流サービス など

1. 2020年度 上期 連結業績

2020年度 上期 実績（連結）

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、
グローバルで設備投資を控える動きが継続し減収減益

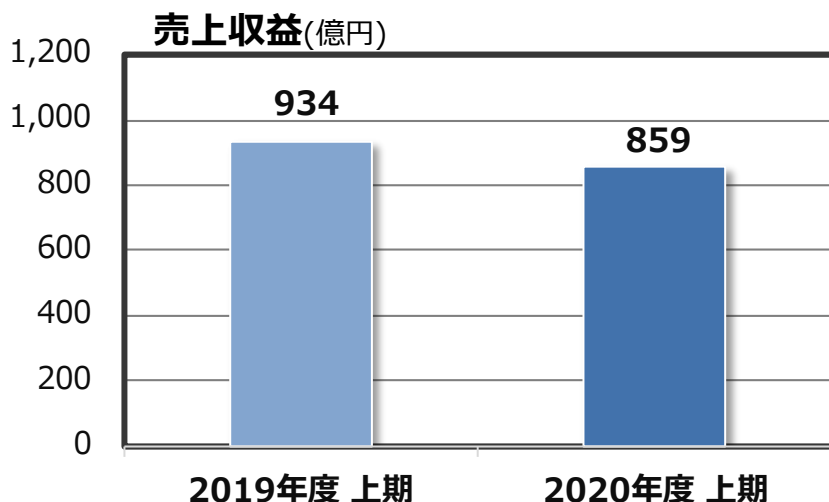
	2020年度 上期 実績	2019年度 上期 実績	前 年 同 期 比	
			増減額	増減率
売 上 収 益	1,868億円	2,118億円	▲249億円	▲11.8%
営 業 利 益	133億円	145億円	▲12億円	▲8.3%
税 引 前 利 益	131億円	142億円	▲11億円	▲7.4%
親会社の所有者に帰属する 四 半 期 利 益	95億円	100億円	▲5億円	▲5.3%

2020年度 上期 実績（セグメント別）

- モーションコントロール、システムエンジニアリングは減収ながら増益
- ロボットはお客さまの工場の操業低下による影響を受け減収減益

	2020年度 上期		2019年度 上期		前 年 同 期 比	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
(単位：億円)						
売上収益	1,868		2,118		▲249	▲11.8%
モーションコントロール	859		934		▲75	▲8.1%
ロボット	654		806		▲152	▲18.9%
システムエンジニアリング	244		263		▲19	▲7.2%
その他	112		114		▲3	▲2.3%
営業利益	133	7.1%	145	6.8%	▲12	▲8.3%
モーションコントロール	124	14.5%	119	12.7%	+5	+4.4%
ロボット	25	3.8%	39	4.9%	▲14	▲36.7%
システムエンジニアリング	2	0.8%	▲2	▲0.7%	+4	-
その他	▲2	▲1.9%	▲1	▲0.6%	▲1	-
消去または全社	▲16	-	▲11	-	▲5	-

主要事業の概要_モーションコントロール

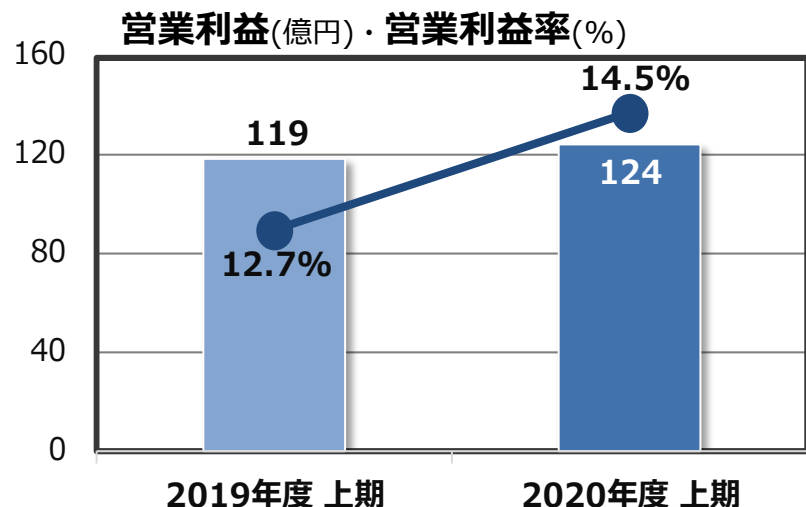


【売上収益】

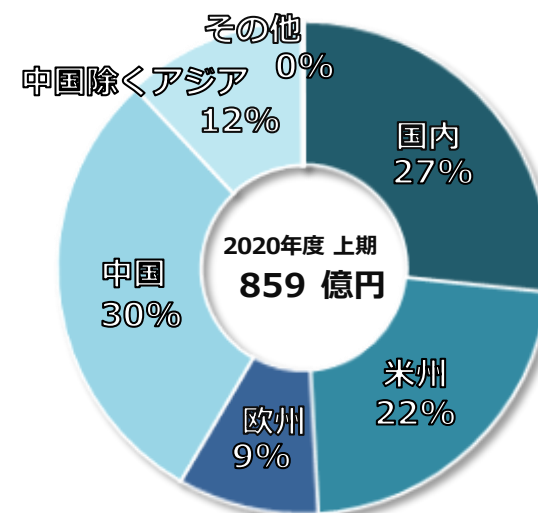
- ・ ACサーボは、中国で5G需要の増加により電子部品や金属加工機向けが伸長し、米国などの半導体関連も堅調
- ・ インバータは、中国のインフラ関連が堅調だったものの米国のオイル・ガス関連需要が大きく落ち込む

【営業利益】

- ・ 中国での売上伸長に伴う収益性の改善や、経費抑制の効果などにより営業利益は増加

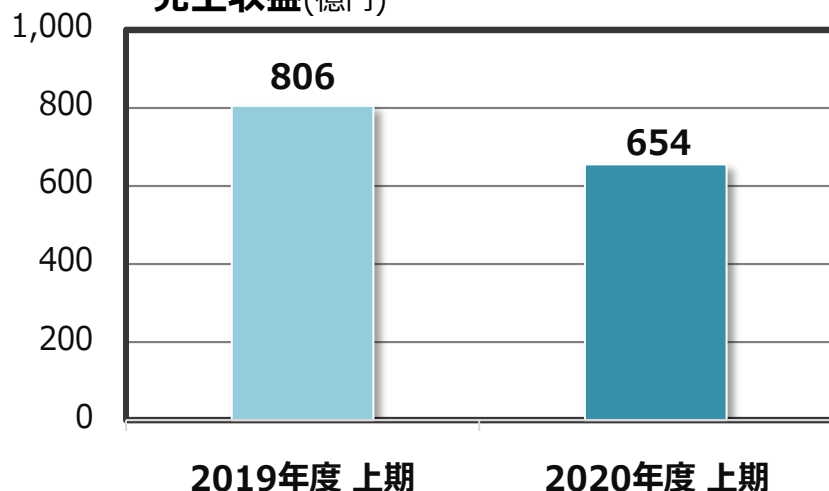


仕向先別売上収益構成比



主要事業の概要_ロボット

売上収益(億円)



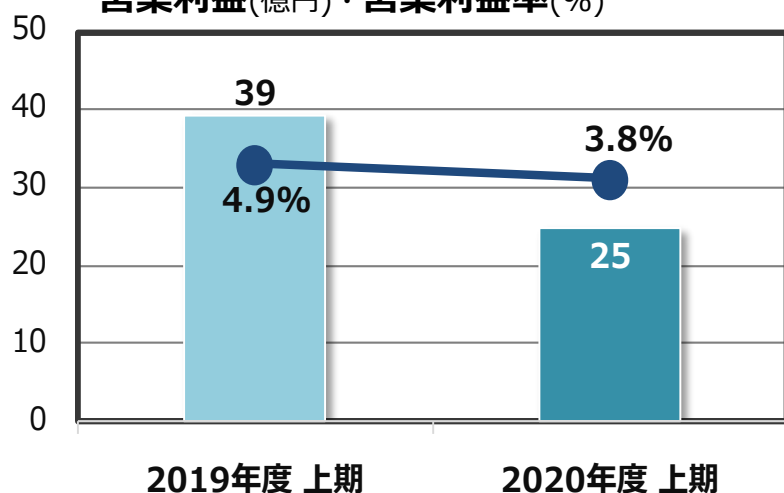
【売上収益】

- 自動車市場においては、お客さまの工場の操業低下により設備投資が抑制され売上は伸び悩む
- 一般産業分野では中国の5G関連需要に加え、コロナ禍での自動化ニーズの加速を背景に積極的な投資の動きがみられた
- 半導体ロボットの販売が国内や韓国などで堅調

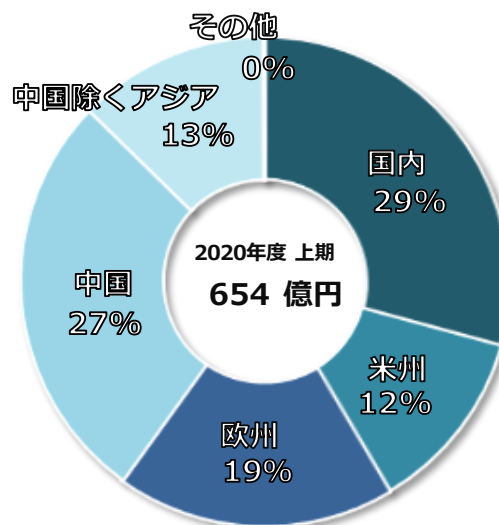
【営業利益】

- 経費抑制を進めたものの、売上の減少や操業度の悪化により営業利益は減少

営業利益(億円)・営業利益率(%)

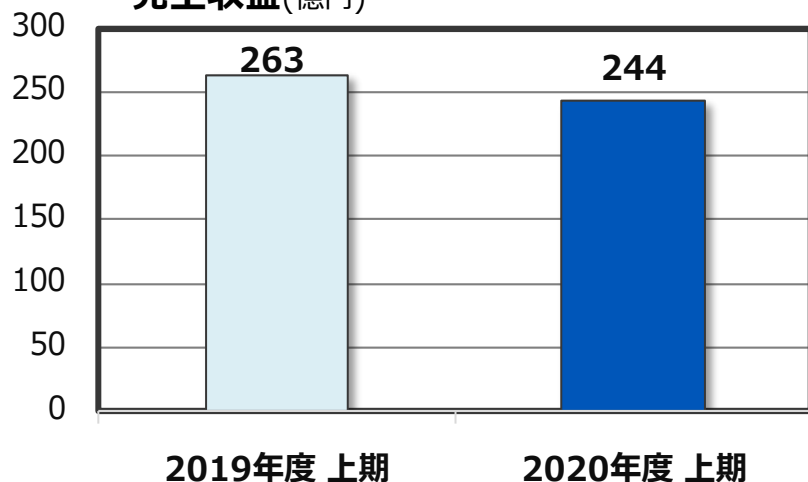


仕向先別売上収益構成比



主要事業の概要_システムエンジニアリング

売上収益(億円)



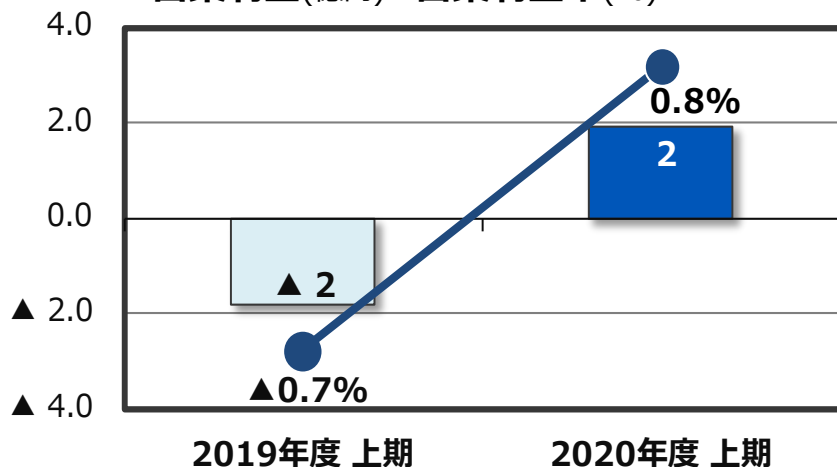
【売上収益】

- 国内では上下水道用電気システム関連が伸び悩むも、鉄鋼プラント関連は堅調
- 環境エネルギー分野の太陽光発電用パワーコンディショナの販売は新製品の市場投入効果で改善
- セグメント全体では、新型コロナウイルスの影響により国内を中心に売上が減少

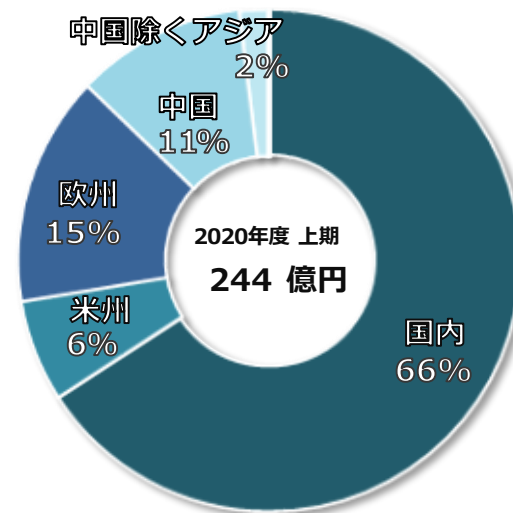
【営業利益】

- 営業利益は構造改革や新製品の市場投入効果などで増加

営業利益(億円)・営業利益率(%)

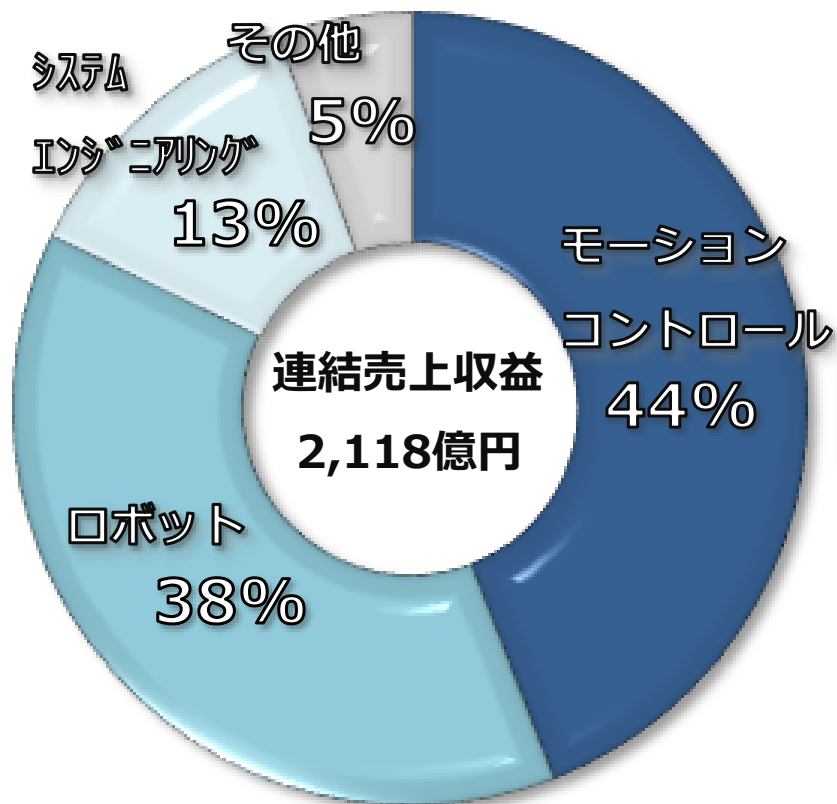


仕向先別売上収益構成比

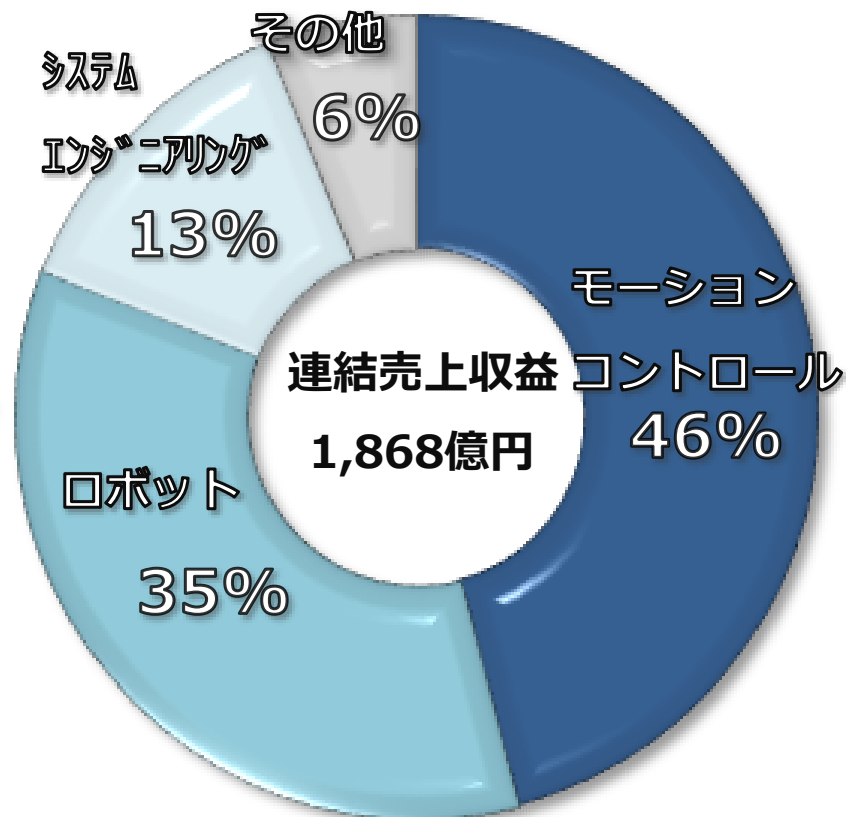


事業セグメント別売上収益構成比

2019年度 上期



2020年度 上期



仕向先別売上収益（2019年度 上期 → 2020年度 上期）

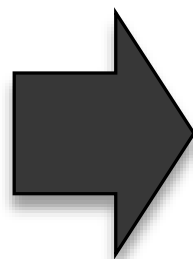
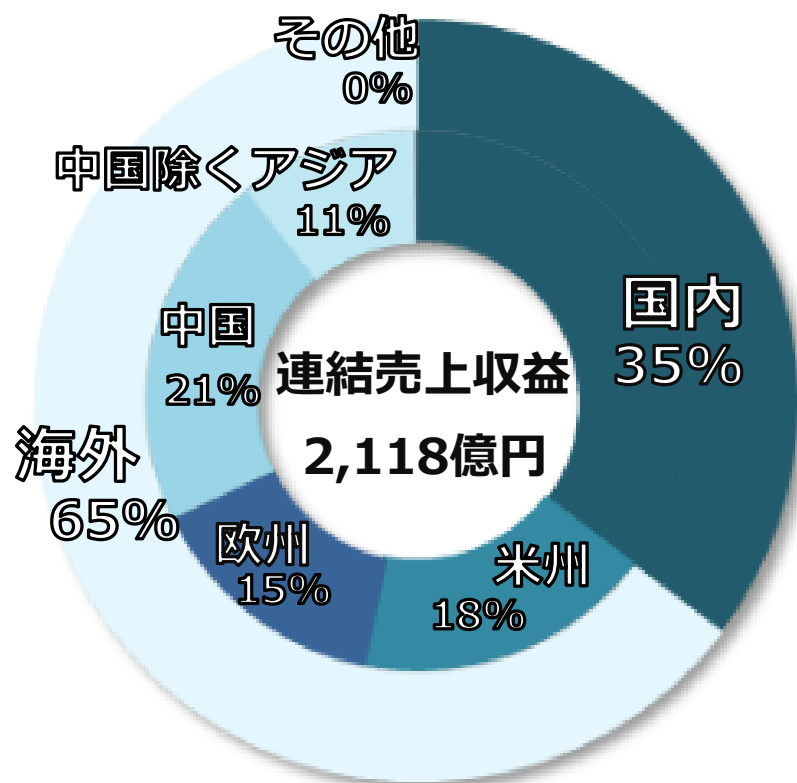
● 中国は前年同期比で増加も、全体的には減収

(単位：億円)	2020年度	2019年度	前 年 同 期 比	
	上期 実績	上期 実績	増減額	増減率
売 上 収 益	1,868	2,118	▲249	▲11.8%
国内	671	748	▲77	▲10.3%
海外	1,197	1,369	▲172	▲12.6%
米州	290	380	▲90	▲23.8%
欧州	237	309	▲73	▲23.5%
中国	481	452	+29	+6.5%
中国除くアジア	189	225	▲37	▲16.2%
その他	1	3	▲2	▲63.4%

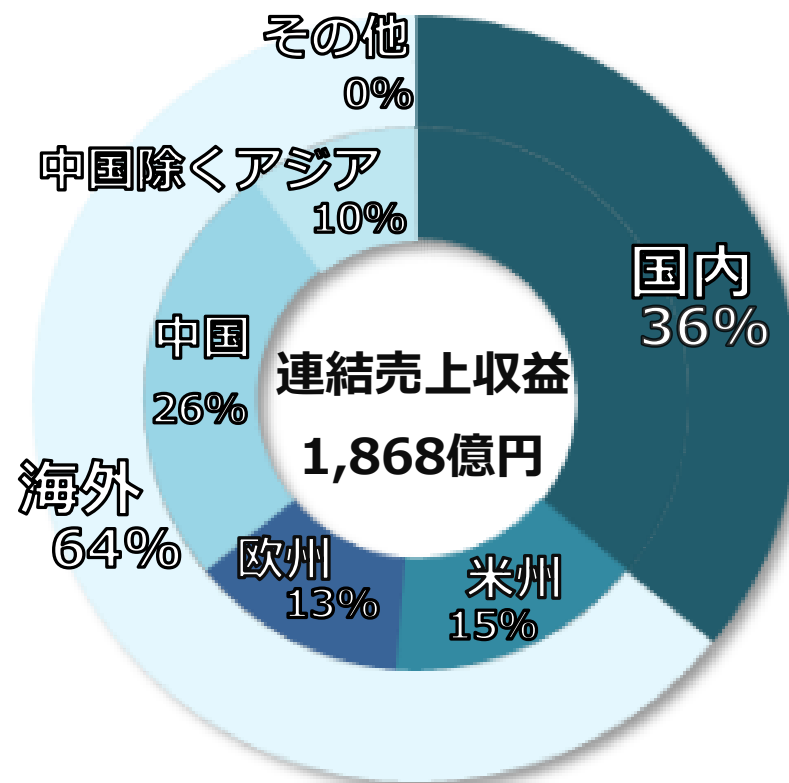
[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

仕向先別売上収益構成比

2019年度 上期



2020年度 上期



[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

営業利益増減要因分析（2019年度 上期 → 2020年度 上期）

（単位：億円）

2019年度
上期

145

為替影響

▲15

売上減による
利益減

▲61

付加価値減

▲5

経費減

+71

その他

▲3

2020年度
上期

133

▲12

2020年度上期における取り組み

➤ “i³-Mechatronics”のビジネスモデル確立

➔ 開発力の強化

- ・ 安川テクノロジーセンター設立に向けた開発環境・インフラの導入準備、共同開発パートナーの探索
- ・ モーションと味ットの統合制御を実現する「YRMコントローラ^(仮称)」のお客さま評価の開始

➔ 販売力の強化

- ・ サービス・エンジニアリング機能の子会社吸収によるサービス事業の統合
- ・ 製造業向けIoTソリューションを手がける子会社「アイキューデジタル」の本格稼働（2020年7月～）
- ・ 新型半導体ウエハ搬送用ロボットのお客さま評価の開始
- ・ 太陽光発電用パワーコンディショナ XGI1500の販売の拡大

➔ 生産力の強化

- ・ 安川ソリューションファクトリ生産方式の国内インバータ工場への展開



新型半導体ウエハ搬送用クリーンロボット
「SEMISTAR-GEKKO MD124DJ」

➤ “デジタル経営”による経営基盤の強化

➔ YDX*推進と働き方改革の加速

- ・ グローバル業務プロセスの標準化による経営情報の見える化推進
- ・ コロナ禍におけるテレワークの活用拡大と営業活動のオンライン化加速

*YASKAWA digital transformationの略。
デジタル経営実現に向けた当社独自の取り組み

2. 2020年度 通期 連結業績見通し

2020年度 通期 見通し（連結）

- 需要動向は下期から来年度にかけて緩やかに回復に向かうと想定
- 市場環境は一部に明るい兆しがあるものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大や米中貿易摩擦の再燃などにより本格的な回復までには時間を要することを想定

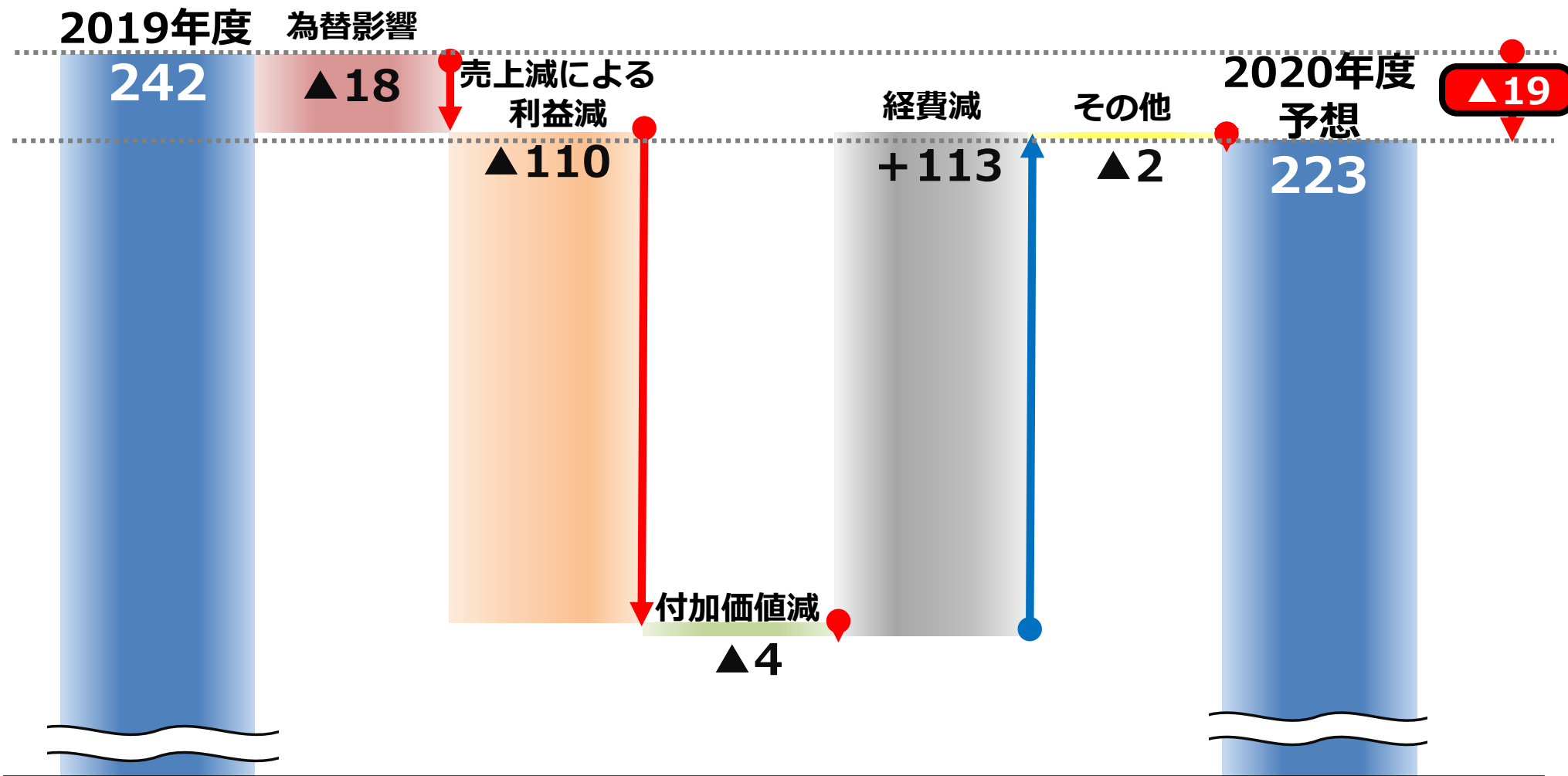
	2020年度	2019年度	前年度比	
	予想	実績	増減額	増減率
売上収益	3,668億円	4,110億円	▲441億円	▲10.7%
営業利益	223億円	242億円	▲19億円	▲7.9%
税引前利益	225億円	246億円	▲21億円	▲8.7%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	155億円	156億円	▲1億円	▲0.4%

2020年度 通期 見通し（セグメント別）

	2020年度		2019年度		前年度比	
	予想	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
(単位：億円)						
売上収益	3,668		4,110		▲441	▲10.7%
モーションコントロール	1,649		1,804		▲156	▲8.6%
ロボット	1,314		1,522		▲208	▲13.7%
システムエンジニアリング	484		555		▲71	▲12.8%
その他	222		228		▲6	▲2.8%
営業利益	223	6.1%	242	5.9%	▲19	▲7.9%
モーションコントロール	208	12.6%	206	11.4%	+3	+1.3%
ロボット	52	3.9%	65	4.3%	▲13	▲20.2%
システムエンジニアリング	3	0.6%	5	0.8%	▲2	▲37.1%
その他	▲3	▲1.4%	▲0	▲0.1%	▲3	-
消去または全社	▲37	-	▲33	-	▲4	-

営業利益増減要因分析（2019年度 → 2020年度予想）

（単位：億円）



2020年度下期における取り組み

➤ “i³-Mechatronics”のビジネスモデル確立

➔ 開発力の強化

- ・ A Cサーボ新シリーズのお客さま評価の開始
- ・ 安川テクノロジーセンタ開設準備の完了 (2021年3月開設予定)

➔ 販売力の強化

- ・ パートナーとの連携強化を通じたi³-Mechatronicsの拡大
- ・ 販売とサービスの一体運営による新サービスモデルの構築

➔ 生産力の強化

- ・ 安川ソリューションファクトリ生産方式の国内生産拠点への展開完了

➤ “デジタル経営”による経営基盤の強化

➔ YDX推進と働き方改革の加速

- ・ デジタル経営ボードによる経営情報の見える化加速
- ・ 「成果」と「評価」のリンク・透明性を高めた新人事評価制度導入による働きがい向上



安川テクノロジーセンタ 完成イメージ図



安川ソリューションファクトリの
ACサーボモータ生産ライン

3. 参考資料

IFRS・セグメント区分の見直しなどによる過年度の組替表示

		2019年度 上期			2019年度 通期				
		日本基準	IFRS 組替影響	セグメント 組替影響	IFRS (セグメント組替後)	日本基準	IFRS 組替影響	セグメント 組替影響	IFRS (セグメント組替後)
(単位：億円)									
売上高，売上収益		2,118	-	-	2,118	4,110	-	-	4,110
	モーションコントロール	924	-	+10	934	1,779	-	+26	1,804
	ロボット	806	-	-	806	1,522	-	-	1,522
	システムエンジニアリング	274	-	▲10	263	581	-	▲26	555
	その他	114	-	-	114	228	-	-	228
営業利益		125	+20	-	145	223	+19	-	242
	モーションコントロール	109	+6	+4	119	187	+5	+13	206
	ロボット	34	+3	+2	39	55	+1	+9	65
	システムエンジニアリング	▲7	+5	+1	▲2	2	+7	▲5	5
	その他	▲2	+1	-	▲1	▲3	+2	-	▲0
	消去または全社	▲9	+5	▲7	▲11	▲18	+2	▲17	▲33
親会社株主に帰属する当期純利益， 親会社の所有者に帰属する当期利益		88	+12	-	100	144	+11	-	156

設備投資・研究開発費, 為替レート, 感応度

設備投資・研究開発費の状況

(単位: 億円)

	2018年度 (実績)	2019年度 (実績)	2020年度 (計画)
設備投資額	356.5	254.7	250.0
減価償却費	143.1	167.5	160.0
研究開発投資	207.9	190.0	180.0

為替レート

※ 為替レートは、期中平均レートを記載

(単位: 円)

	2018年度 (実績)			2019年度 (実績)			2020年度 (想定)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期 (実績)	下期	通期
対 米ドル	109.3	111.7	110.5	109.2	108.8	109.0	107.2	104.0	105.6
対 ユーロ	129.9	127.8	128.9	122.6	120.1	121.4	120.4	123.0	121.7
対 元	16.81	16.28	16.56	15.91	15.48	15.70	15.23	15.40	15.31
対 ウォン	0.100	0.099	0.100	0.093	0.092	0.093	0.089	0.090	0.089

為替感応度

(単位: 億円)

	1%変動による影響額 (2020年度_通期 想定)	
	売上収益	営業利益
米ドル	約 6.6	約 1.2
ユーロ	約 5.2	約 0.8
元	約 9.0	約 2.3
ウォン	約 1.6	約 1.3

B/S 構造の推移

2020年2月29日時点

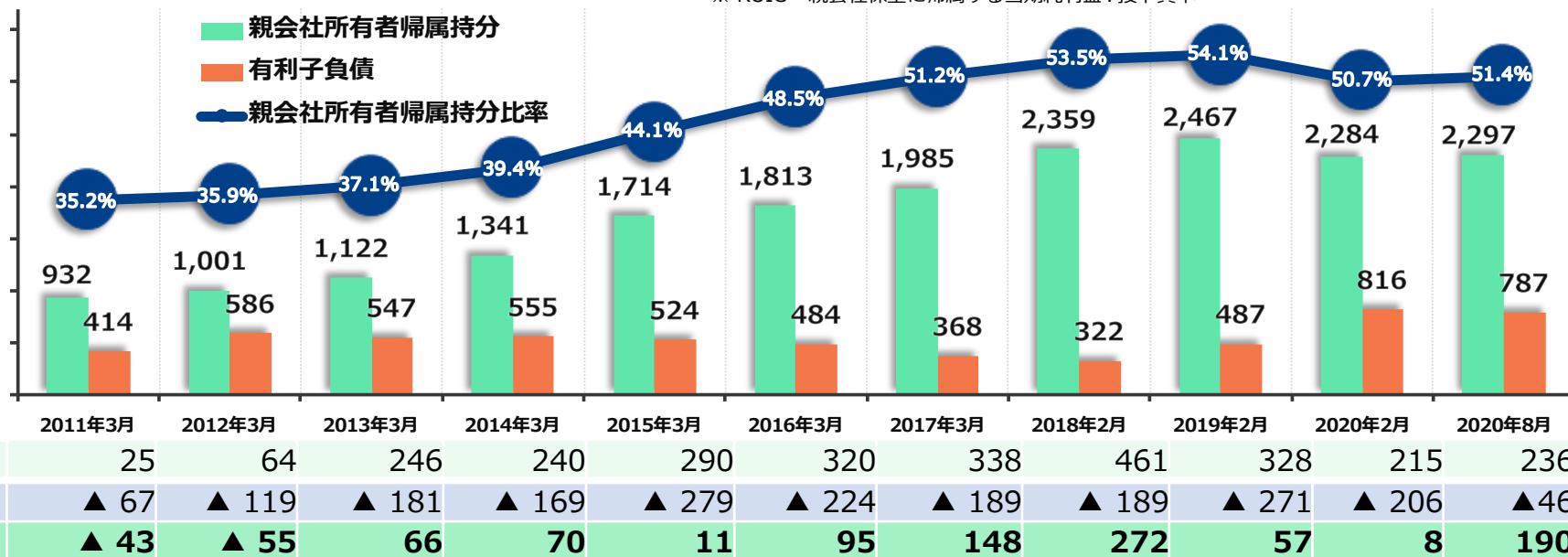
- 親会社所有者帰属持分比率 50.7%
- 親会社所有者帰属持分 2,284億円
- 有利子負債 816億円
- D/Eレシオ 0.36
(ネットD/Eレシオ) 0.18
- 棚卸資産 1,020億円
(回転月数) (3.0ヶ月)
- ROE 6.6%
- ROIC 5.9%

2020年8月31日時点

- 親会社所有者帰属持分比率 51.4%
- 親会社所有者帰属持分 2,297億円
- 有利子負債 787億円
- D/Eレシオ 0.34
(ネットD/Eレシオ) 0.14
- 棚卸資産 1,066億円
(回転月数) (3.3ヶ月)

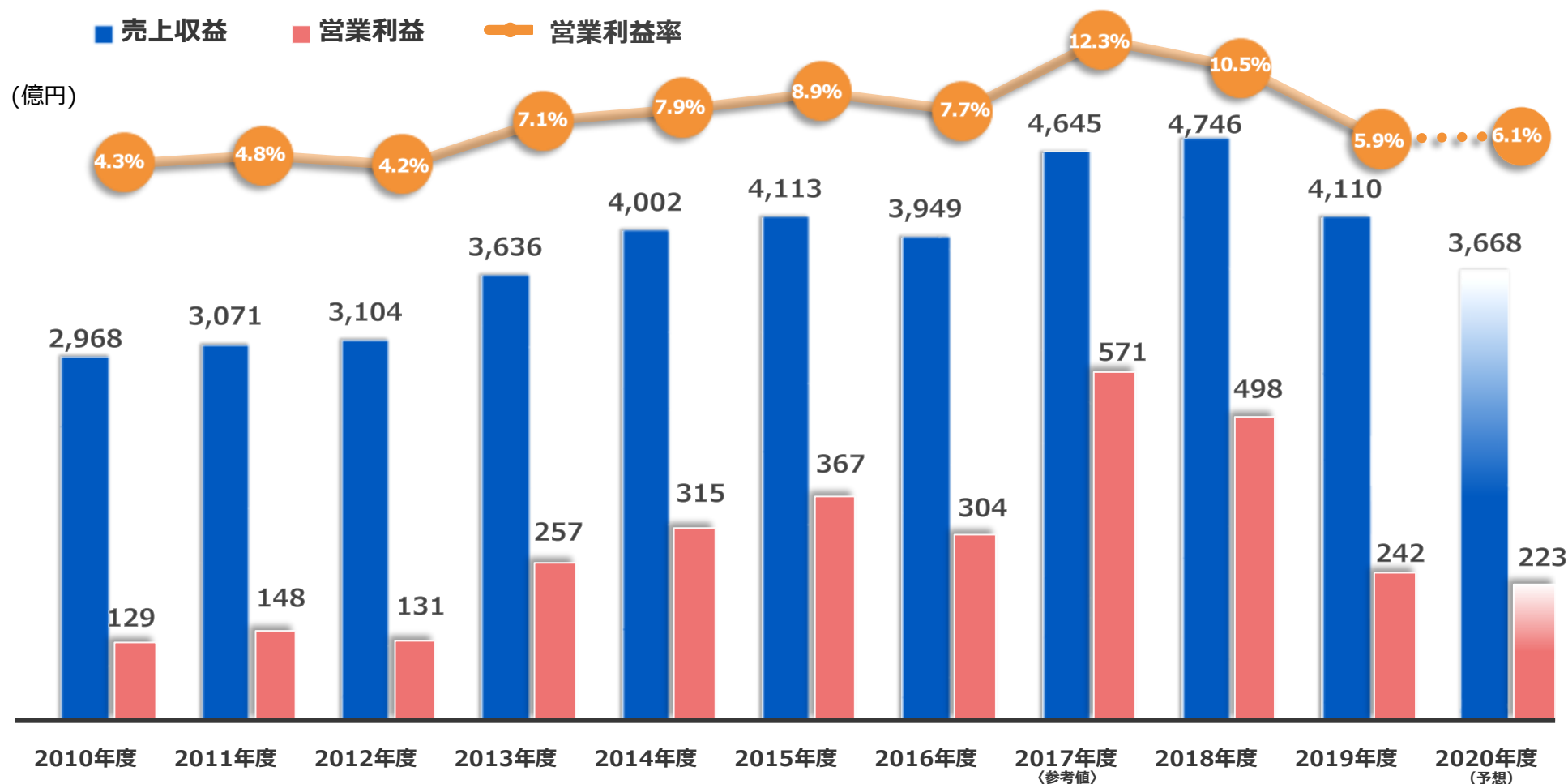
※ 有利子負債はリース債務を含む
 ※ 棚卸資産回転月数の計算には棚卸資産の期末値を使用
 ※ ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ ((前期末自己資本 + 当期末自己資本) ÷ 2)
 ※ ROIC = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 投下資本

(単位：億円)



[注] 2019年2月までのデータは日本基準にて記載しています

連結売上収益・営業利益推移（2010年度～2020年度予想）



Challenge 100

Realize 100

Dash 25

Challenge 25

中期経営計画

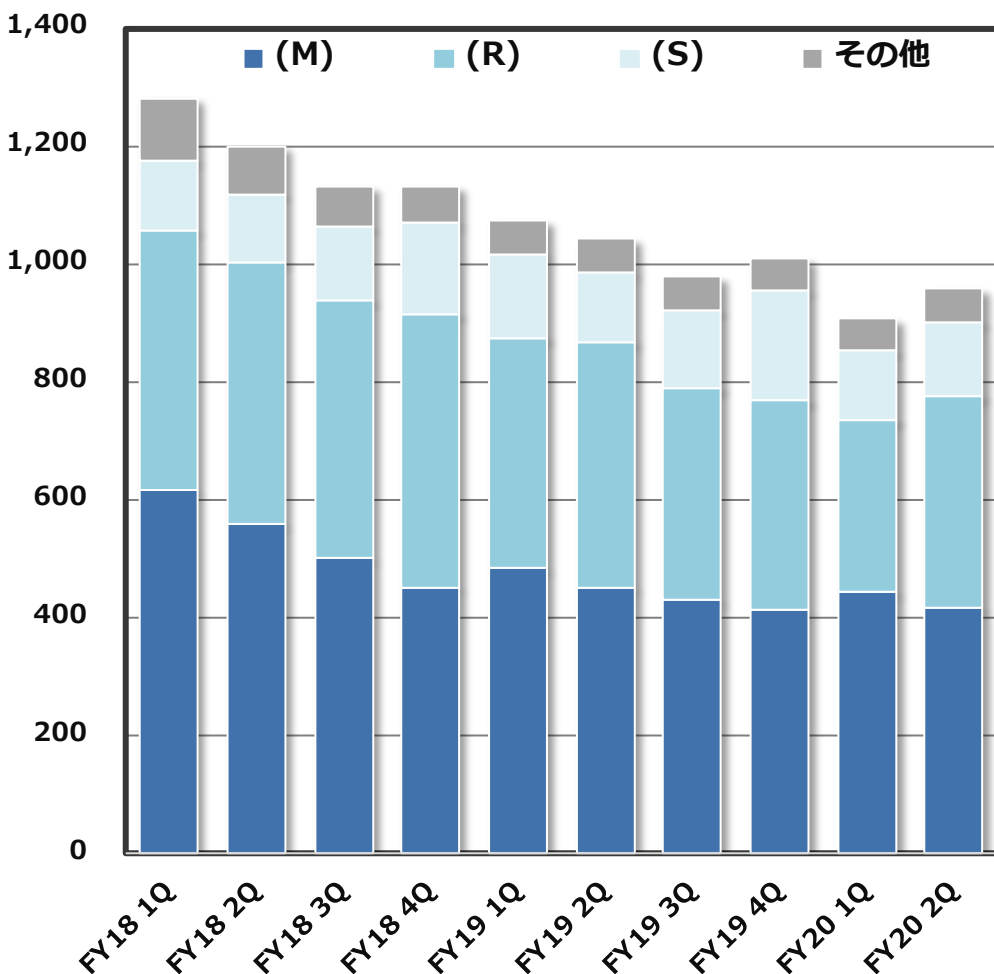
[注1.] 2018年度までのデータは日本基準にて記載しています

[注2.] 2017年度通期実績は、対象期間を2017年3月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

四半期連結売上収益推移

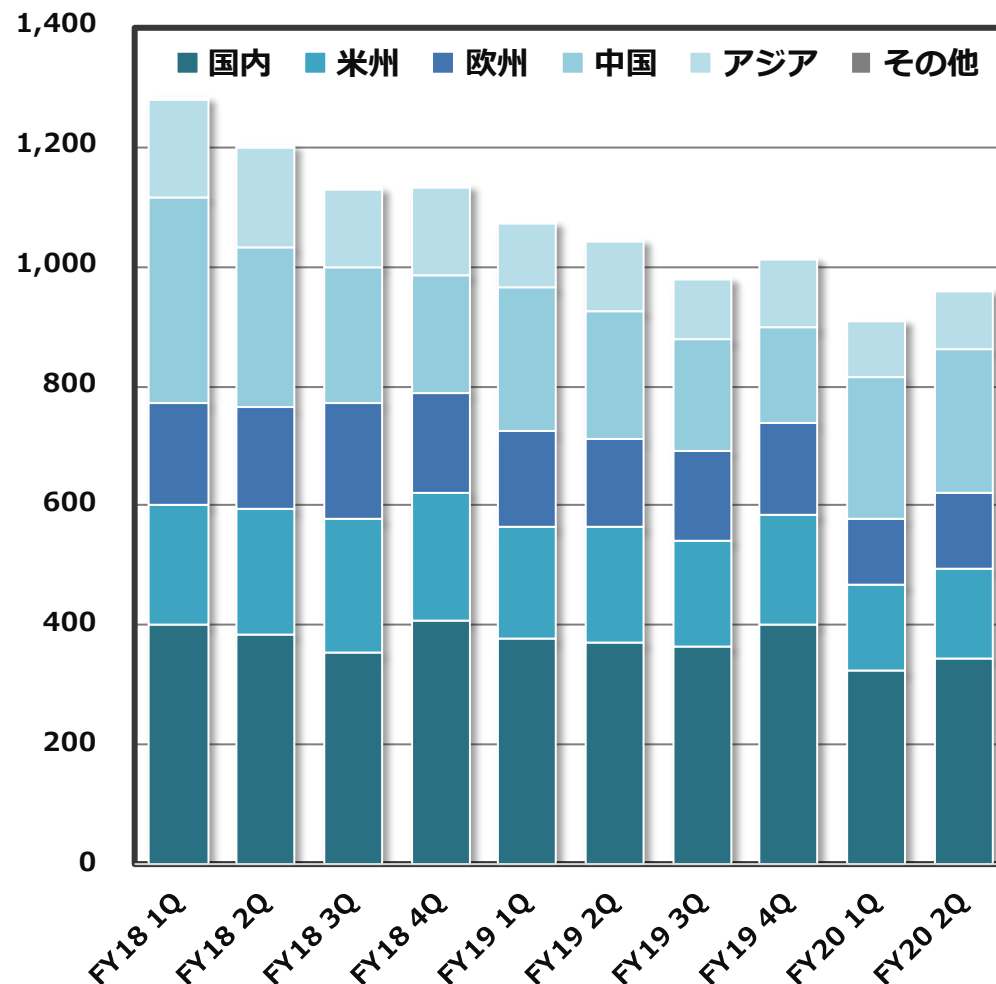
セグメント別

(億円)



仕向先別

(億円)



[注.1] FY19およびFY20のデータは、セグメント区分変更後の数値を使用

[注.2] 表記：(M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

四半期連結売上収益推移

モーションコントロール

(億円)

700

600

500

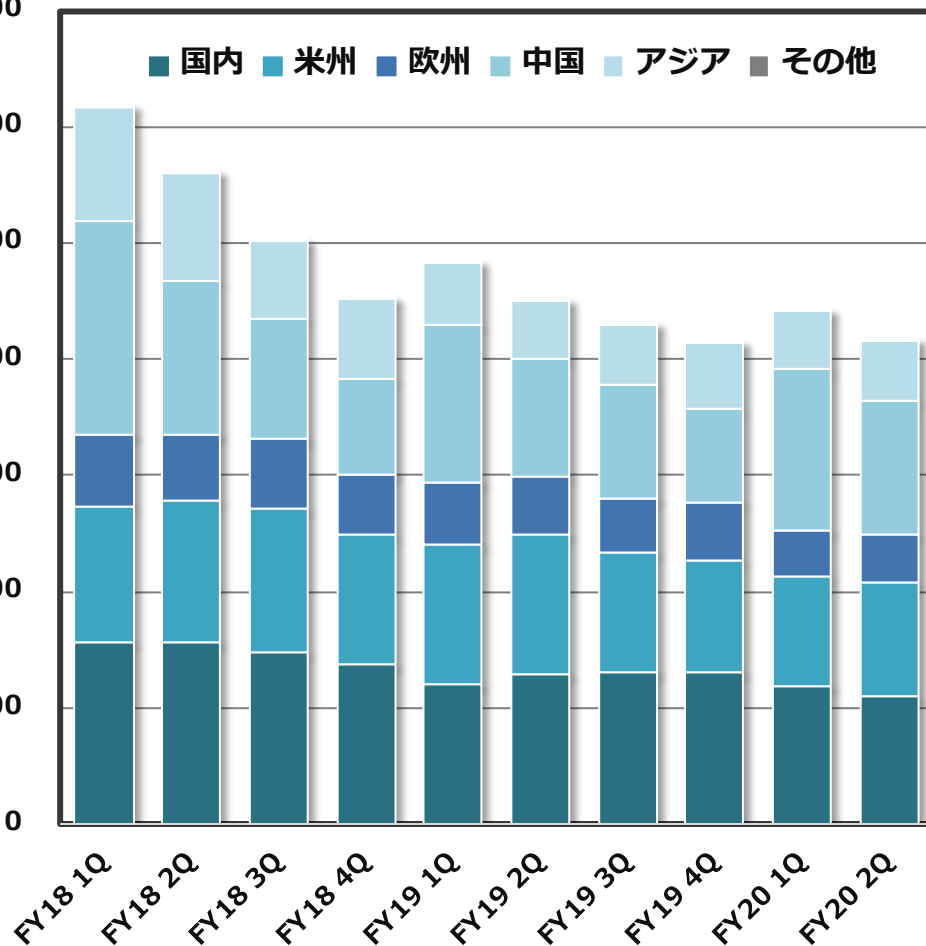
400

300

200

100

0



ロボット

(億円)

500

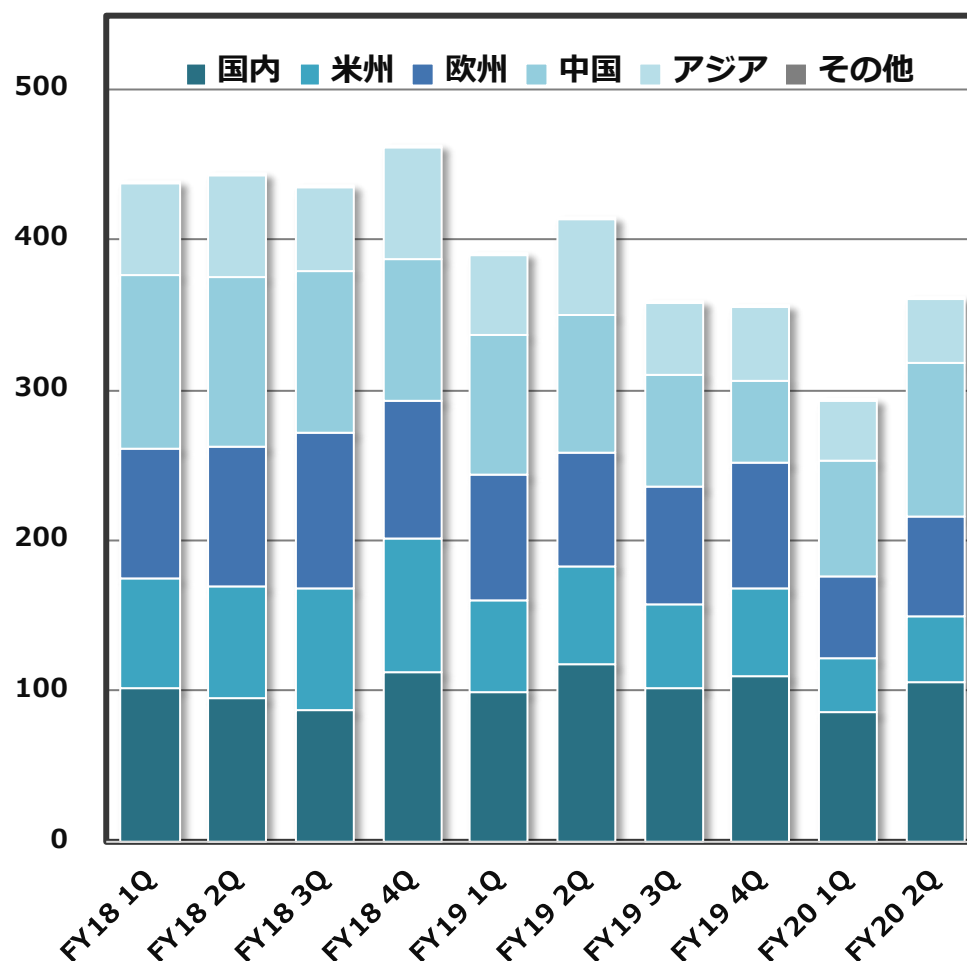
400

300

200

100

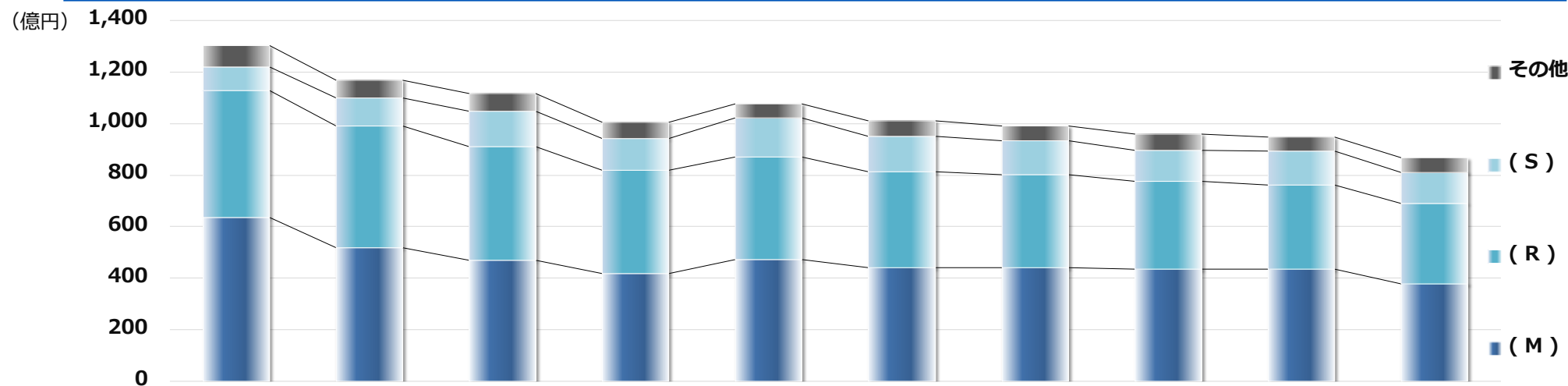
0



[注] FY19およびFY20のデータは、セグメント区分変更後の数値を使用

四半期連結受注推移（セグメント別）

※為替は期中平均レートを使用



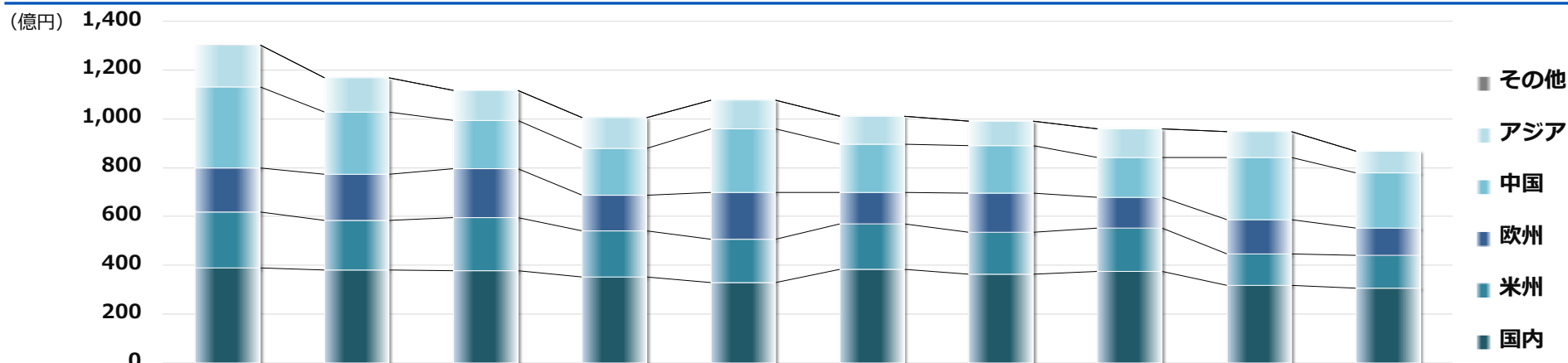
		FY2018				FY2019				FY2020	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
全社	YoY	+10%	▲4%	▲9%	▲17%	▲17%	▲14%	▲11%	▲4%	▲12%	▲14%
	QoQ	+8%	▲10%	▲4%	▲10%	+7%	▲6%	▲2%	▲3%	▲1%	▲8%
YoY	(M)	+3%	▲7%	▲12%	▲20%	▲26%	▲15%	▲7%	+4%	▲8%	▲14%
	(R)	+15%	+7%	▲8%	▲10%	▲19%	▲22%	▲17%	▲15%	▲18%	▲16%
	(S)	+14%	▲37%	+4%	▲17%	+64%	+27%	▲6%	▲3%	▲13%	▲14%
QoQ	(M)	+21%	▲19%	▲9%	▲11%	+13%	▲7%	▲0%	▲1%	+0%	▲13%
	(R)	+11%	▲4%	▲7%	▲9%	▲0%	▲7%	▲2%	▲6%	▲4%	▲5%
	(S)	▲39%	+20%	+27%	▲11%	+21%	▲7%	▲6%	▲8%	+8%	▲8%
為替 レート	円/ドル	107.8	110.8	112.7	110.6	111.0	107.6	108.2	109.5	107.6	106.8
	円/ユーロ	130.9	128.9	129.6	125.9	124.7	120.6	119.3	120.9	117.9	122.8

[注.1] 表記：(M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

[注.2] FY19およびFY20のデータは、セグメント区分変更後の数値を使用

四半期連結受注推移（仕向先別）

※為替は期中平均レートを使用



		FY2018				FY2019				FY2020	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
全社	YoY	+10%	▲4%	▲9%	▲17%	▲17%	▲14%	▲11%	▲4%	▲12%	▲14%
	QoQ	+8%	▲10%	▲4%	▲10%	+7%	▲6%	▲2%	▲3%	▲1%	▲8%
YoY	国内	+18%	+4%	▲6%	▲6%	▲15%	+1%	▲4%	+6%	▲3%	▲21%
	米州	+11%	▲10%	▲5%	▲10%	▲23%	▲8%	▲21%	▲5%	▲28%	▲28%
	欧州	+16%	▲6%	+11%	▲15%	+7%	▲33%	▲19%	▲13%	▲27%	▲11%
	中国	+8%	▲8%	▲23%	▲35%	▲22%	▲21%	▲3%	▲15%	▲1%	+13%
	アジア	▲6%	▲13%	▲28%	▲21%	▲30%	▲20%	▲18%	▲7%	▲12%	▲21%
QoQ	国内	+4%	▲2%	▲1%	▲7%	▲7%	+17%	▲5%	+3%	▲15%	▲4%
	米州	+10%	▲12%	+8%	▲14%	▲6%	+5%	▲8%	+4%	▲29%	+6%
	欧州	+5%	+5%	+8%	▲28%	+32%	▲34%	+27%	▲21%	+10%	▲20%
	中国	+12%	▲24%	▲21%	▲4%	+35%	▲23%	▲3%	▲16%	+57%	▲12%
	アジア	+7%	▲17%	▲13%	+3%	▲5%	▲5%	▲11%	+16%	▲10%	▲15%

[注] FY19およびFY20のデータは、セグメント区分変更後の数値を使用

グローバル生産拠点



YASKAWA